

2011年度の事業活動と「国連グローバル・コンパクト」「ISO26000」の対応

重点報告(◎)は、「コミュニケーションレポート2011」に対する社外の関心・期待項目の把握とグループ年次方針の両面から決定しました。

項目	課題項目	2011年度の取り組み項目 (◎は重点報告)	国連グローバル・コンパクト				ISO26000(社会的責任の手引き)中核主題						ページ	
			人権	労働基準	環境	腐敗防止	組織統治	人権	労働慣行	環境	公正事業慣行	消費者課題		コミュニティ参画・発展
コーポレート・ガバナンス (企業統治)	コンプライアンス	◎グループ・コンプライアンス経営 ◎グループ・コンプライアンス体制 ◎コンプライアンスの浸透・定着				★	★			★				P27
	リスクマネジメント 情報セキュリティ	○リスクマネジメント ○情報セキュリティ				★	★							P28
	人権	○人権の尊重	★	★	★		★	★						P28
ステークホルダーへの約束/活動項目														
お客さま	100%の安全安心の追求 (交通安全、道路保全)	◎交通安全対策、交通渋滞対策 ○交通管理巡回、法令違反車両の取り締まり ○道路交通情報の提供 ○料金所の「安心」の追求								★	★			P31
		◎構造物の老朽化対策 ○災害に強い道路を目指して									★			P35
	お客さまサービスの向上 (CS活動、施設改善)	◎お客さまの声を事業に反映 ○お客さまの評価を確認 ○グループ全体のCS向上活動 ○料金所におけるCSの追求									★			P37
		◎SA・PAの「お客さま満足施設」への変革 ○地産地消への取り組み									★	★		P39
	多様な価値の提案と提供	○高速道路を利用した観光サービス拡大 ○道路管理のノウハウを活かした業務受託									★	★		P42
社会	着実な道路ネットワークの整備と機能向上	◎高速道路ネットワークの整備 ○既存ネットワークの機能向上									★	★		P43
	災害対応力の強化	○防災体制の強化 ◎地域・他機関との連携強化 ○日頃の取り組みの強化										★		P46
	海外への事業展開	◎海外事業の推進 ○開発途上国での道路技術支援事業の展開 ○北米での要素技術の拡販										★		P47
	高速道路を支える技術の高度化	○実用化した技術開発 ○実用化を目指す技術開発 ○他組織との技術交流の推進									★	★		P49
投資家・国民の皆さま	公正、透明、健全な事業活動	○低利かつ安定的な資金調達 ○株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション ○外部評価による透明性確保 ○不正通行対策								★				P51
	積極的な情報開示	○ウェブサイトによる情報開示 ○事業理解を深めていただくための情報発信								★	★			P53
社員	「自立」と「成長」戦略を支える人材の育成	○キャリアマネジメントの基本戦略 ○人材育成の取り組み		★							★			P55
		○人材の確保と活躍支援 ◎ワークライフインテグレーションの推進 ○安心して働ける職場環境の実現 ○労使関係									★	★		P57
お取引先	SA・PAテナント会社との協働	○SA・PAテナントとの協働 ○テナント会社との相互協力									★	★		P59
	公正な取引関係	○契約の基本方針 ○契約情報の公表、電子契約の実施 ○入札監視委員会、入札監視事務局									★			P60

項目	課題項目	2011年度の取り組み項目 (◎は重点報告)	国連グローバル・コンパクト				ISO26000(社会的責任の手引き)中核主題						ページ	
			人権	労働基準	環境	腐敗防止	組織統治	人権	労働慣行	環境	公正事業慣行	消費者課題		コミュニティ参画・発展
より広い社会、未来への働きかけ/活動項目														
環境保全	環境経営の推進	○環境方針 ○環境基本計画、 ○環境アクションプラン ○事業活動と環境負荷				★						★		P61
	低炭素社会の実現	○CO2排出量の削減 ○円滑な交通確保による排出抑制 ◎省エネルギーの推進 ◎創エネルギーの推進 ○樹林化によるCO2の固定吸収の促進				★						★		P65
	循環型社会の形成	○建設副産物の3R ○緑のリサイクル ○事業活動による発生ごみの3R ○環境に配慮した製品・資材の調達									★			P69
	自然と共生する社会の推進	○生物多様性の保全 ○道路建設における自然環境への配慮 ○道路交通騒音対策									★		★	P71
社会貢献	社会の持続的な発展への貢献	○安全への取り組み ○環境への取り組み ○地域の元気への取り組み ○社員の社会貢献活動への支援・促進 ○西日本高速道路エリアパートナーズ倶楽部による社会貢献活動				★						★	★	P73

主な取り組み指標についての目標と実績

NEXCO西日本は、高速道路機構との協定に基づき、適切な管理水準の確保のために定めた基本的な考え方(仕様書等)を示したうえで、維持作業、点検、補修、料金収受業務、交通管理業務等について、報告書^{※1}を提出しています。本表は、この報告書で定めた指標と目標をもとに作成しています。

指標	内容	2011年度		単位	目標 (2012年度)	関連するCSR課題
		目標	実績			
本線渋滞損失期間	高速道路本線での渋滞発生によるお客さまの損失時間	430	526	万台・時間	486	●100%の安全・安心の追求(交通安全)(→P31) ●着実な道路ネットワーク整備と機能向上(→P43) ●低炭素社会の実現(→P65)
路上工事による車線規制時間	道路1kmあたりの路上作業に伴う年間の交通規制時間	77	77	時間/km	77	●100%の安全・安心の追求(交通安全)(→P31)
死傷事故率	走行車両1億台kmあたりの死傷事故件数	9.1	9.1	件/億台・km	9.0	●100%の安全・安心の追求(交通安全)(→P31)
舗装保全率	早期に補修を必要としない健全な舗装路面の割合(車線延長比率)	95	96	%	96	●100%の安全・安心の追求(予防保全)(→P35) ●高速道路を支える技術の高度化(→P49)
橋梁修繕率	早期に修繕を必要としない健全な橋梁の割合	93	91	%	91	●100%の安全・安心の追求(予防保全)(→P35) ●高速道路を支える技術の高度化(→P49)
橋脚補強完了率	耐震補強を必要とする橋脚のうち、補強が完了している割合	97	97	%	99	●100%の安全・安心の追求(予防保全)(→P35) ●高速道路を支える技術の高度化(→P49)
顧客満足度	CS調査等によって把握する、維持管理についてのお客さまの満足度 ^{※2}	3.6以上	3.6	ポイント	3.6以上	●お客さまサービスの向上(→P37) ●SA・PAテナント会社との協働(→P61)
利用時間確保率	道路が利用可能な時間の割合	99.8	99.4	%	99.7	●100%の安全・安心の追求(交通安全)(→P31)

※1 2011年度の報告書の全文は、下記URLでご覧いただけます。

URL: <http://www.jehdra.go.jp/ijikanri23.html>

※2 NEXCO3社同一の基準によって、NEXCO総研が実施するウェブ調査。5段階で測定する。